



『ものづくりで感動を!』

昨年、VEC関西支部様で、弊社の真空フライ装置及び技術を、六次産業化での取り組みとしてプレゼンテーションさせて頂きました、神戸の株式会社アトラステクノサービスです。

この度、近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2016」での認定と、兵庫県においての「ひょうごNo.1ものづくり大賞」技術部門賞の受賞となりました。



(技術部門賞)

真空フライ装置の機械メーカーとしての事業と共に、もっとこの技術を世の中に普及させたいという思い、まだまだ新技術であり、新商品をここ数年出し続けていますので、認定・受賞・補助金・プレゼン大会など、機会があれば、果敢にアタックしております。

私自身は、栄養士・フードコーディネーターなど食に関する資格を持っています。起業して18年となります。弊社のもともとの柱である濾過装置事業を展開するにあたっては、装置の営業活動と、社員を食べさせなければならないという思いで、純粋に機械メーカーとしての立場での活動でしたので、自分の得意分野である「食」を封印していました。

真空フライの技術自体も、だれも関心がない時代を何年も過ごしてきました。しかし、約10年前より、二本目の大きな柱として本格的に取り組みし出して、ようやく私の「食」の力を発揮できる場となりました。

そもそも、国産の規格外の農産物などを捨てずに使おう！そのためにこの技術を活用しませんか？ということ起業した時から言ってきましたが当時は見向きもされませんでした。

「わざわざお金をかけなくても捨てれば早いんだ！」と直接農協から言われたこともあり、愕然としておりました。

現在、国産素材の安全・安心・大事さ、また農漁業者さんにとって、収穫した農産物等を規格外品も含め、いかに有効に利用し、お金にしていくのが課題となり、ようやく弊社の技術が力を発揮できる時代がきたと思っております。

関西ものづくり新撰の受賞式で頂いた言葉があります。

「安心・安全を超えた、感動を人に与える技術であり取り組みだ」と。私どもの方が感動いたしました。

「食にこだわる機械メーカーです～田や畑や石釜まであるんです～変な会社でしょう～」と今まで人様に言ってきましたが、機械に心（心情）がついているという情緒的な部分でお褒めいただいた事は、私が行ってきた事業の根っこを代弁して頂き、再認識させて頂きました。

現在、弊社技術を活用し、神戸市及び兵庫県との農商工連携も本格化してきております。

第二創業として、地域との連携による食品加工業を行うことになりました。

開発商品である神戸市西区の「太秋柿チップス」は、神戸市内のJA兵庫六甲販売所全店舗、また神戸六甲ベイシェラトンホテルで販売されています。「神戸の農業」のアピールの為、地域の素材の活用・ブランド化の為、今後も色々なラインナップを計画しています。

また、関西ものづくり新撰2016認定企業のために、本町の大阪産業創造館地下1階、大阪企業家ミュージアムにおいて「挑戦・創意工夫 今活躍する企業家たち2016」の企画展示が行われております。

2016年5月31日（火）まで、日・月・祝日は休館日となっておりますので、お時間がございましたらぜひ足を運んでいただければと存じます。

これからも、ものづくりの機械メーカーとして皆様に感動を与えられる仕事をしていきたいと思っております。

秋以降、社内の改装が終わりますので、こちらへおこしの際は、「神戸市にこんなところがまだあったのか!？」という、のんびりとした神戸の田舎へ、食の新技术を見に、お立ち寄りください。

(株)アトラステクノサービス 代表取締役 鯛 かおる



(製品の一例)



「生きがいと健康」に繋がる音楽を、 Googleストリートビューと共に!

「家に眠っているピアノがある」「昔から、ピアノは憧れでした」という方は多いですね。確かに、日本は『鍵盤の普及率が世界NO.1』（4世帯に1台）となっています。

しかし、「ピアノは、スグに弾けるものではない!」と多くの方が感じています。それもその筈、ピアノ演奏の習得には、通常数年間が必要とされるからです。

しかし、その不可能を可能にしたのが、『らくらくピアノ』です。

ご挨拶が遅れましたが、私は『一般社団法人 全日本らくらくピアノ協会』代表の光畑浩美と申します。

「ピアノ経験がない80歳も、その場で両手が弾ける!」という弾き方(メソッド)の考案者です。愛する母に、ピアノを楽しんでもらいたい一心で、10年前、『指番号でスグ弾ける』弾き方を考案しました。(特許庁:商標登録済。実用新案申請中。)

この『らくらくピアノ』は、A4一枚の用紙で市民講座から始めたものですが、最初のうちは「ピアノは難しすぎる!」と、ことごとく周囲から断られ続けました。しかし、文部科学省主催「全国生涯学習フェスティバルまなびピア」をきっかけに全国的活動となり、「Amazon・楽天で新譜ランキング、連続1位」を獲得し、現在では官公庁との連携による市民大学講座・カルチャー教室・楽器店など約3,000名を超える受講生と認定講師約700名となりました。ふと気が付くと、受講生は70代~80代の方ばかり。



(トラベリング・ピアノ)

皆様、口を揃えてこう言われます。「ピアノは人生を豊かにして、認知症予防にも最適である」と。そこで私は、独自の弾き方(メソッド)を基に「世界初!指の万歩計に相当するものは作れないだろうか?」と考えるようになりました。指を、わずか1回「ポン!」と弾くだけで1.4calも消費するピアノ。この素晴らしい健康効果を画像表示しつつ、「ピアノを簡単に弾くと、Googleストリートビューの画面が進んで、旅をしている気分になれる」という、世界初の手の万歩計(名:トラベリング・ピアノ)を提案しました。ありがたい事に、このプロジェクトは『経済産業省近畿経済産業局主催:LED関西』においてファイナリストに選ばれ、さらに『ナレッジ・イノベーション・アワード2016』にて優秀賞を受賞しました。ますます高齢化が進む日本。ピアノを通じて、より多くの方々に「生き甲斐と健康」を御提供できますよう心から願っております。

一般社団法人 全日本らくらくピアノ協会
代表理事 光畑 浩美

〒530-0011 大阪府北区大深町3-1
グランフロント大阪ナレッジキャピタル8階

TEL: 06-6734-3339 FAX: 06-6734-3335
Email: info@rakurakupiano.jp



ヤンゴン(ミャンマー)の経済・文化視察報告

2016年1月24日～1月27日(3泊4日)、総選挙前から数えて5回目の訪緬となり、宿泊は五つ星ホテル「スーレ・シャングリラホテル」、メンバーは精鋭4名。
(ミャンマーの概要と政治問題は省略します)

今回の主目的は

1. ミャンマーインレー湖近くの小学校に教育用DVD等の電化製品を贈呈すること。(2012年9月、インレー湖近くの小学校を訪問し、ノート100冊等文房具を贈呈した際、電気が通じたら教育用DVD等の電化製品一式の贈呈を約束、今回、目出度く電気が通じたとの情報を得、約束を果たすため)
2. JETROヤンゴン事務所及びミャンマー日本商工会議所を訪問し、直近のミャンマー現地情勢等についてお伺いすること(詳細は以下に記載します)
3. ミャンマー経済特区(SEZ)の一つである「ティラワ工業団地」を見学すること。
4. ヤンゴン大学他ヤンゴンの大学を見学すること。
5. 今回5回目の訪緬となるため、初回訪緬から発展している情勢変化を確認するため。

結果報告

○小学校への電化製品贈呈手続処理完了

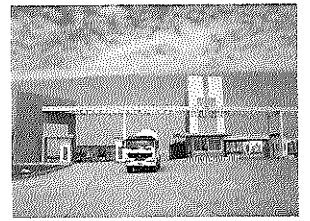
○JETRO海外投資アドバイザーのご説明内容の概要は下記の通りですが、極めて有意義な2時間でした。

- ①ミャンマーの有望性として人口5200万人の市場があり、天然資源も豊富な国土で低賃金の豊富な労働力と高い識字率の労働市場がある。GDP544億米ドル(日本の山口県並)(1人当たり1200ドル)。賃金は、一般ワーカー127米ドル/月、スタッフ一般職354米ドル/月。インフラ整備・制度改革を着実に実行すればビジネスチャンスは大きく期待できる
- ②日本政府支援(ODA・円借款・技術協力・人材育成等)のインフラ整備実施(電力・鉄道・通信・港湾・都市整備等)及び日本の民間投資が経済発展に寄与しつつあり日本企業が経済特区の工業団地等へ大きく投資する市場になりつつある。
- ③日本企業の直接投資は年々増加しており、ミャンマー日本商工会議所加盟企業数は50社(2012年まで)から現在268社となっている。
- ④日本のメガバンク3行ヤンゴン支店開設済みで2015年12月に念願のヤンゴン証券取引所が開設され、金融面でも規制緩和されつつある。

詳しい資料が必要な方は、「VEC経由」にてお申出てください。コピーを差し上げます。

○ティラワ工業団地の概要について(2015年9月23日開業)

- ①工業団地開発運営会社は日緬合弁会社で出資比率日本49%(JICA・三菱商事・丸紅・住友商事)・ミャンマー51%。
- ②総開発用地2400ヘクタール(東京ドーム500個分)ヤンゴンから南東20km、ティラワ港に隣接。先行クラスA開発396ヘクタール(第1期211㌃完工済)
- ③近隣に「STAR・CITY」が既に出来上がっており、社員がいつでも居住可能な状態でスーパーマーケット・ゴルフ場・レストラン・学校・医院等完備されている。
- ④インフラも整備中で、ヤンゴン市内からティラワ工業団地までのアクセスとして「新タケダ橋」を建設中(日本無償供与)、上水道整備事業(円借款237億円)、ガス・送水管、変電送配電網、港拡張工事等(円借款200億円)インフラ整備中。
- ⑤予約契約締結済企業数52社(内日系企業26社)2015年11月15日現在)
- ⑥ミャンマーの雇用創出につながる重要プロジェクトで、優遇税制の享受・ワンストップサービスセンター設置による迅速・円滑な各種許認可取得が可能となり、海外からの投資が加速すると思われる



(ティラワ工業団地の正面の写真)

○その他見学先について

- ①ゲーリープレーヤーが設計したヤンゴンNO.1のゴルフ場「パンラインゴルフクラブ」で、ハーフのみラウンド(7ホール目で乾季では極めて珍しい大雨に合い中止)。貸クラブ・靴含めてプレー代金91ドルと平日の日本と大差はない価格ですが、現地では約1ヶ月の賃金に等しい高額なプレー代です。
- ②ヤンゴンの環状線でのんびり田舎の景色を満喫。ディーゼル車で時速30キロ程度、運賃一人20円と極めて安い。中央駅にて乗車したため、満員列車となったが、若い女性が席を譲ってくれて、久しぶりに新鮮な気持ちになった。
- ③ヤンゴン大学、ヤンゴン外国語大学を外からの見学となったが歴史もあり、識字率が高く(80%)、英語をはじめ語学等の向学心は高いと感じた。電力の普及率30%、水道の普及率8.2%、鉄道列車の電化の遅れ、銀行を信用しない札束社会等まだまだインフラ整備、制度改革等問題は多々ありますが、最近では、日経新聞のミャンマー特集、テレビでの新生ミャンマーの紹介等、注目されているミャンマーを4日間でしたが、直近の現地情勢を体験でき、5年後を目指したビジネスチャンスも期待出来そうな、今回も極めて充実した経済・文化視察でした。



(環状線中央駅)

一般社団法人ベストビジネスセンター(通称BBC)代表理事 山下 太一郎

<トピックス>

～京都大学が大阪大学に続きファンド(国の出資金を財源)設立～

すでに発表されていますが、京都大学産官学連携本部から内容を伺いました。

ファンドを利用されるような案件がございましたら京都大学イノベーションキャピタル株式会社かVECへご連絡下さい。

◎主旨: 京都大学の研究成果を事業化する企業への投資事業を通じて、その研究成果を社会に還元し、我が国の産業競争強化に貢献する。

◎ファンドの内容

- ・京都大学イノベーションキャピタル株式会社がファンド運用
京都大学100%出資の子会社。設立 平成26年12月22日。資本金 35百万円 代表取締役 樋口 修司(武田薬品・元執行役員)
- ・ファンド総額 160億円(うち京都大学 150億円、銀行など10億円)
- ・運用期間 15年間(最長20年)
- ・長期ファンドとの連携 NVCCや、みやこキャピタル(本社京都)と企業育成などで連携して行く。
- ・対象企業 IPS細胞などバイオや世界トップレベルの工学、化学分野などに注力する。
- ・目標 今後1社3億(当初投資)位、年間10社程度を目標。企業の所在地は問わない。

関西支部 事務局

～VEC関西より～

・いよいよ、我が国もベンチャー時代が到来したという感がありますが、国立大学までがファンドを立ち上げ、ベンチャー育成に力を入れてきました。VEC関西からも新しい研究開発型のベンチャーを生み出したいものです。
(本田)

・我が家から歩いて15分くらいの所に、日本最古のため池(狭山池)が今年2016年に築造1400年を迎え、色んな行事が行われます。狭山池には大きな黄色のラバーダック(5/8まで)が浮かんでいて多くの人達で賑わっています。まだ行ったことがないのですが安藤忠雄氏の設計の博物館もあります。(藤本)

・知り合いの方から我が家へ山で採れたタケノコをたくさん送って頂きました。春だなあと食べ物から季節感が感じるのも和食ならではの味です。また私のクローゼットにかかっている冬物の全体的に黒っぽい洋服の色から何着か春ら

しいパステルカラーの洋服と交換し気分も軽やかになりました。クローゼットも洋服の色によって軽くなったように感じます。
(濱本)

・今月のご活躍中の女性経営者にご登場頂きました。4月から女性活躍推進法が実施され、まさにそれに相応しいお二人であります。ミャンマー事情は当方の編集事情で5月号となりましたが、いよいよ動き出したミャンマーを山下代表からメッセージ頂きました。
(澤村)

<交流会の予定>

平成28年6月13日(月) 株式会社 マックマシントール
会長 CEO 岡田 年晴 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル 9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293